

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。



千林晩風戦ぐ
せんりんばんふうそよ

高 木 聖 雨 先 生

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。

千林晩風戦ぐ
せんりんぼんふうせよ



高 木 聖 雨 先 生

条幅かな

条幅規定

C部 (二段以下)

A部 (準五段以上)
B部 (四段~準三段)

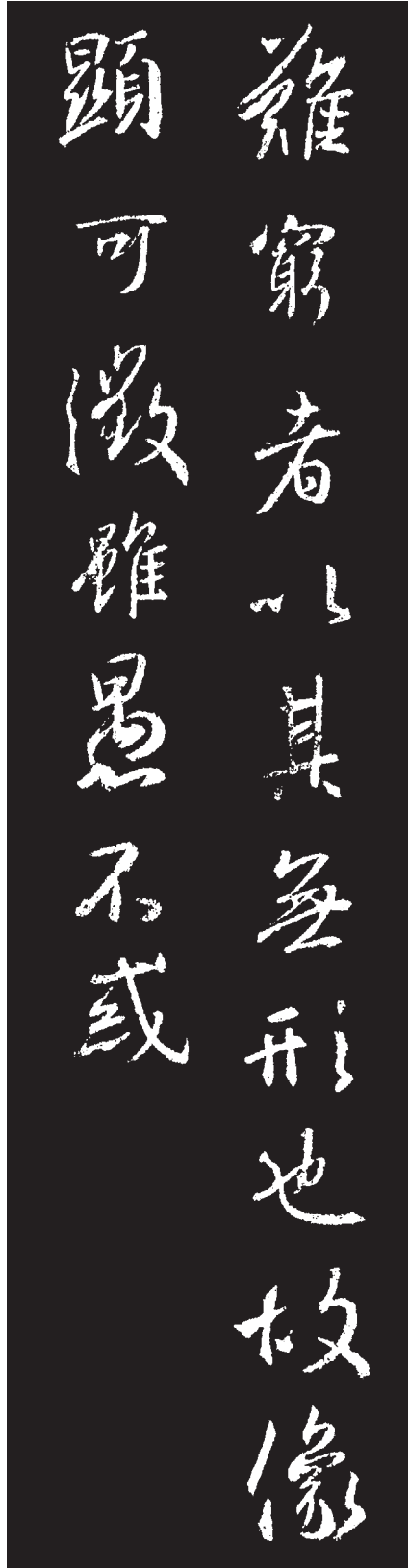
君がため惜しからざりし命さへ長くもがなと思ひけるかな (藤原義孝)



集字聖教序 (東晋・王羲之)

難窮者以其無形也故^図像顯可徵雖愚不惑

浮 乘 清 郷 先 生



道因法師碑 (唐・歐陽 通)

寺習道安居此寺往經廢院宇凋弊法師慨



条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

(5月10日締切)

半紙規定 (一)

曹全碑 (漢・作者不詳)



※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

童齒にして学を好み、恣緯を甄極して

亂好学甄極

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

(5月10日締切)

半紙規定 (二)

九成宮醴泉銘 (唐・欧陽詢)



實還淳反本

清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書 〔二級以下〕楷書

実を取る。淳に還りて本かえに反り、

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

(5月10日締切)

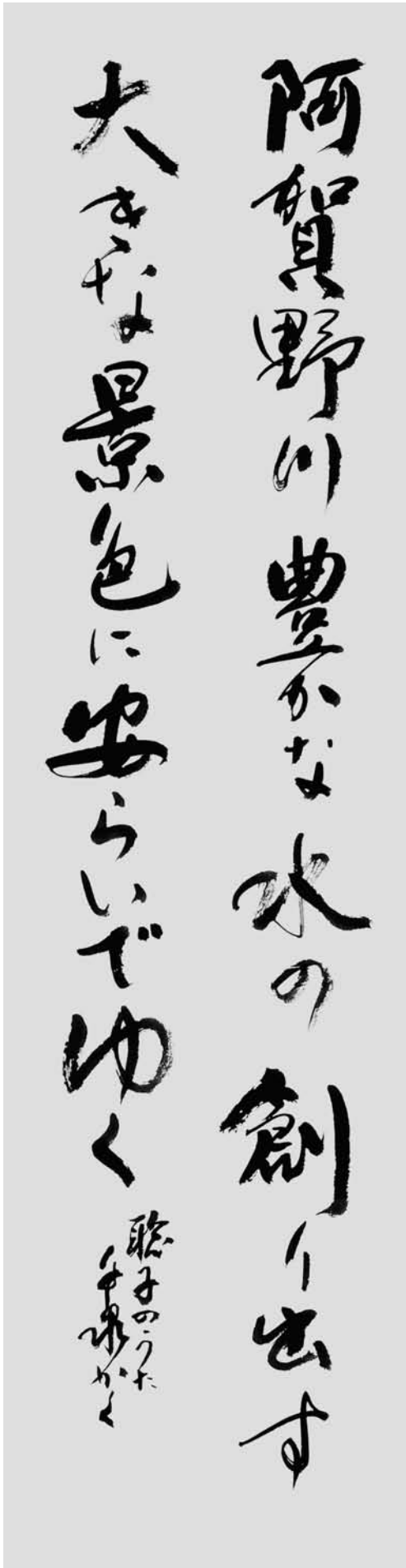
条幅参考手本



大井岳陵先生

三百六十日 日日醉如泥 雖爲李白婦 何異太常妻
 三百六十日 日日に酔ひて泥の如し 李白の婦爲ると雖も 何ぞ太常の妻に異らん

和泉千泉先生



阿賀野川 豊かな水の創り出す 大きな景色に安らいでゆく

半紙かな（初段以上）

今^{いま}ぞしる^{くろ}苦しき^むもの^{ひと}と人^{ひと}また^む里^{さと}を^ばかれず^とふ^べかり^{けり}（在原業平）



支部名 段 姓 号 (鉛筆可)

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
※ちらし文字変換は自由

浮 乗 清 郷 先 生

(5月10日締切)

半紙かな (1級～8級)

うかれける人ひとや初瀬はつせの山やま核かくら
可道 (松尾芭蕉)

初瀬
山核
姓
姓

支部名 級 姓 号 (鉛筆可)

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
※ちらし文字変換は自由

船久保 棠 苑 先生

(5月10日締切)

実用文（準三段以上）

季節の移ろいは必ずやそ来る。
 野山を覆うた厳しい雪も漸やく
 消えて、木々も芽吹き、緑豊かな
 自然を散策しながら記念公園も
 賑わうことだろう。

支部名 水 姓 号

〈書風任意〉…野山を覆った…漸やく…記念公園も賑わうことだろう。

田 辺 玉 翠 先 生

(5月10日締切)

実用文（二段以下）

〈書風任意〉

四月の声を聞くと、心がうきうきを
してきます。お宅様では御長男が
小学校御入学、御家内皆様もさうぞ
お喜びの事でございますよう。

文部 段級 姓号

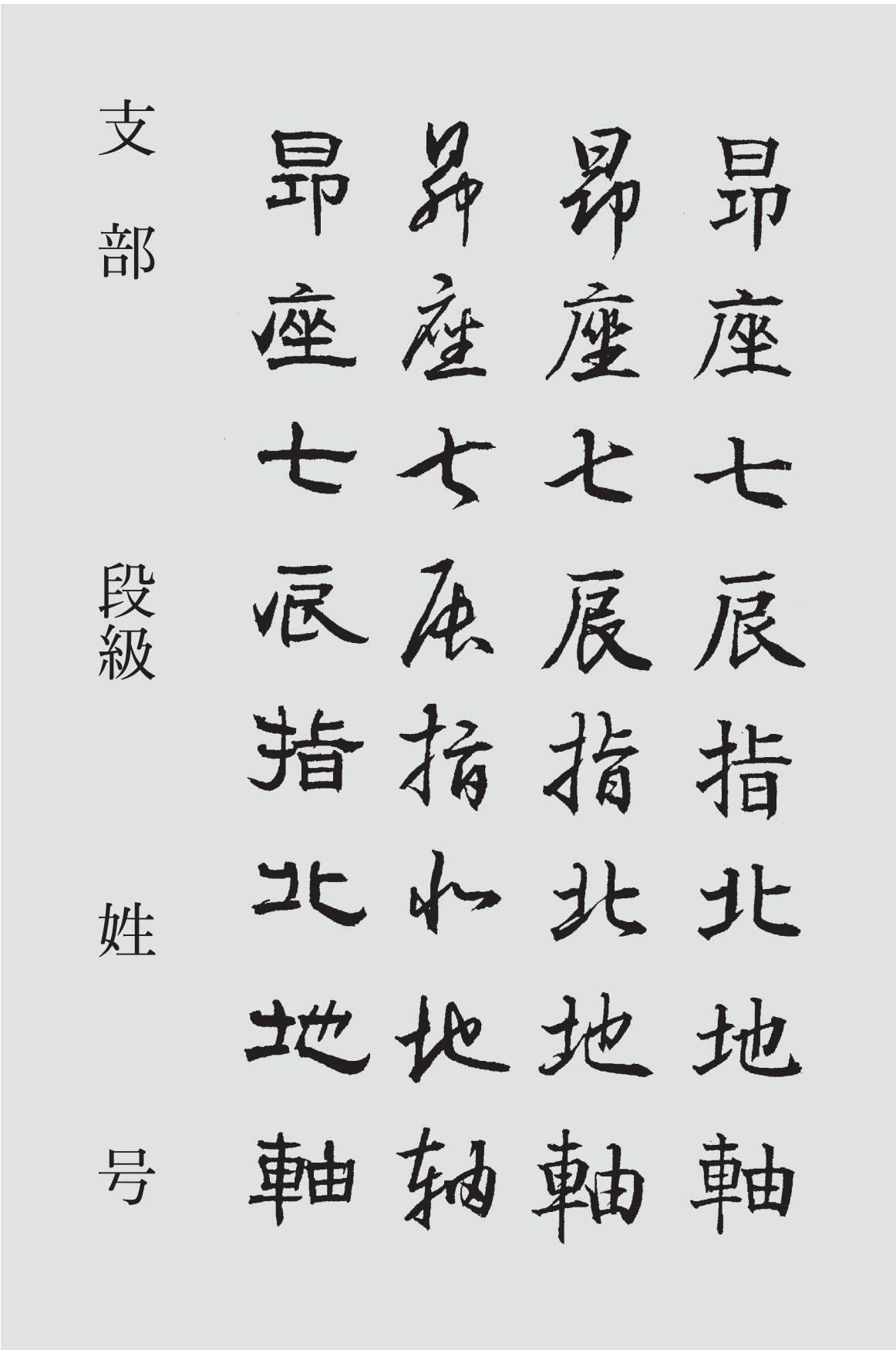
久保田 悠山 先生

（5月10日締切）

細 字

高須翠雲書「五體昭和千字文」より P90

※今月から八文字になりました。



支部

段級

姓

号

昂座七辰 昂座七辰 昂座七辰 昂座七辰
 昂座七辰 昂座七辰 昂座七辰 昂座七辰
 昂座七辰 昂座七辰 昂座七辰 昂座七辰
 昂座七辰 昂座七辰 昂座七辰 昂座七辰

※一級〜八級は草書まで。初段以上は隷書まで。
 昂座 七辰
 ことう せいざ しちん
 スバル座 北斗七星。

指北
 し ぼく
 北方を指す。

名前は必ず楷書 17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

(5月10日締切)

硬筆（初段以上）

春は四季の中で何かがはじまる
期待を抱く季節だ。人生の節目
の時期でもある。卒業式・入学式・入
社式・旅立ちの時間であり、別離と
出逢いの交差する時間でもある。

支部名 段 姓 号

本院定型用紙一枚に書く

青柳江雲先生

（5月10日締切）

硬筆（4級以下）

硬筆（1級～3級）

本院定型用紙・たて半分に書く

支部

級

姓 号

晴れた日の暖かい風に
苔葉の香りがする。
道に咲く草花は美しい。

田 辺 翠 鶴 先生

支部

級

姓 号

晴れた日の暖かい風に
苔葉の香りがする。
道に咲く草花は美しい。

田 辺 翠 鶴 先生

（5月10日締切）

中2用

支部名	人	文
段級	生	学
名前	と	

渡邊南嶂先生

中3用

支部名	歌	小
段級	声	鳥
名前		の

大越三宗先生

5月10日締切並びに前期昇段級試験課題（5月15日締切）

小6用

中1用

支部名
 段級
 名
 前

文章長い

渡邊南嶂先生

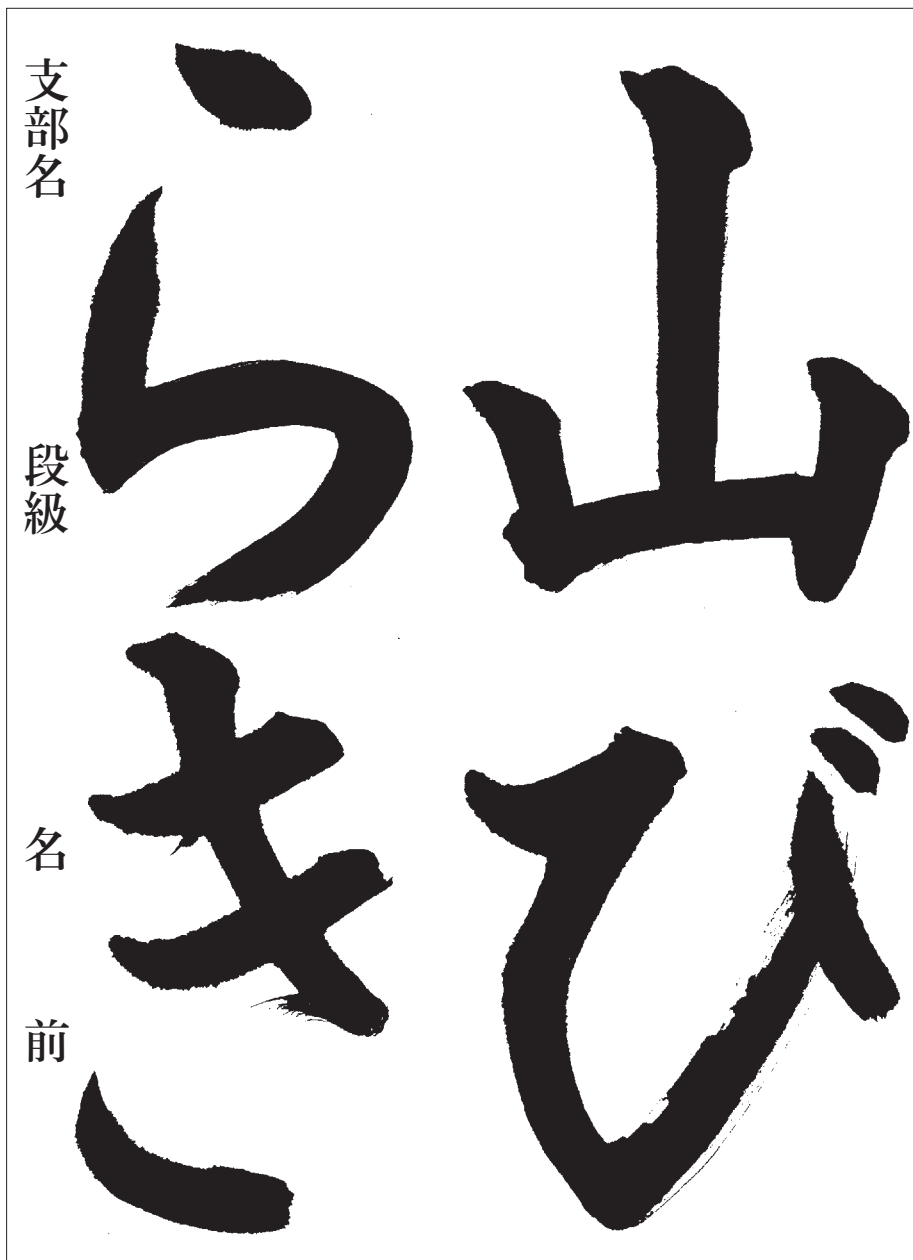
支部名
 段級
 名
 前

社会の
 動向

渡邊南嶂先生

5月10日締切並びに前期昇段級試験課題（5月15日締切）

小4用



大越三宗先生

小5用



大越三宗先生


5月10日締切並びに前期昇段級試験課題 (5月15日締切)

小2用

支部名

段級

名前




鈴木 翡翠 先生

小3用

支部名

段級

名前



鈴木 翡翠 先生

5月10日締切並びに前期昇段級試験課題（5月15日締切）

小1・幼年用

支部名

段級

名

前

りす

中 3

古城は質素な造りに深い
い気品をたたえていた。

中 2

未来へ一歩ずつ足を踏
みしめ前進しよう。

中 1

湖は緑色の水をたたえ
静まり返っている。

中1～中3

青柳江雲先生

5月10日締切並びに前期昇段級試験課題（5月15日締切）

小1・幼年

まほりうみ。ありにんごごま。

小 2

かんは、たのしいな。火よう日の音がくのだじ

小 3

同じ組になった。ようちえんの友だちと、

小 4

っばいの四月が来た。光がいつばい、花もい

小 5

い季節になりました。そよ風がほおに心地よ

小 6

く気持ちが大切だ。何事も最後までやりぬ

小1～小3 田 辺 翠 鶴 先生

小4～小6 齊 藤 翡 流 先生

5月10日締切並びに前期昇段級試験課題 (5月15日締切)

小学部小筆課題

支部名

段級

名

前

若草がおる
山の道

読み||温あたたかき雨あめのほひの夜や気きにふれ
季語||「温か」
路上、ふと夜気に水温む頃の雨の匂いを嗅いだのである。ほのあたくかな細雨の降る夜気。優しく柔らかな句。

船久保 棠 苑 先生

中学部かな課題

支部名

段級

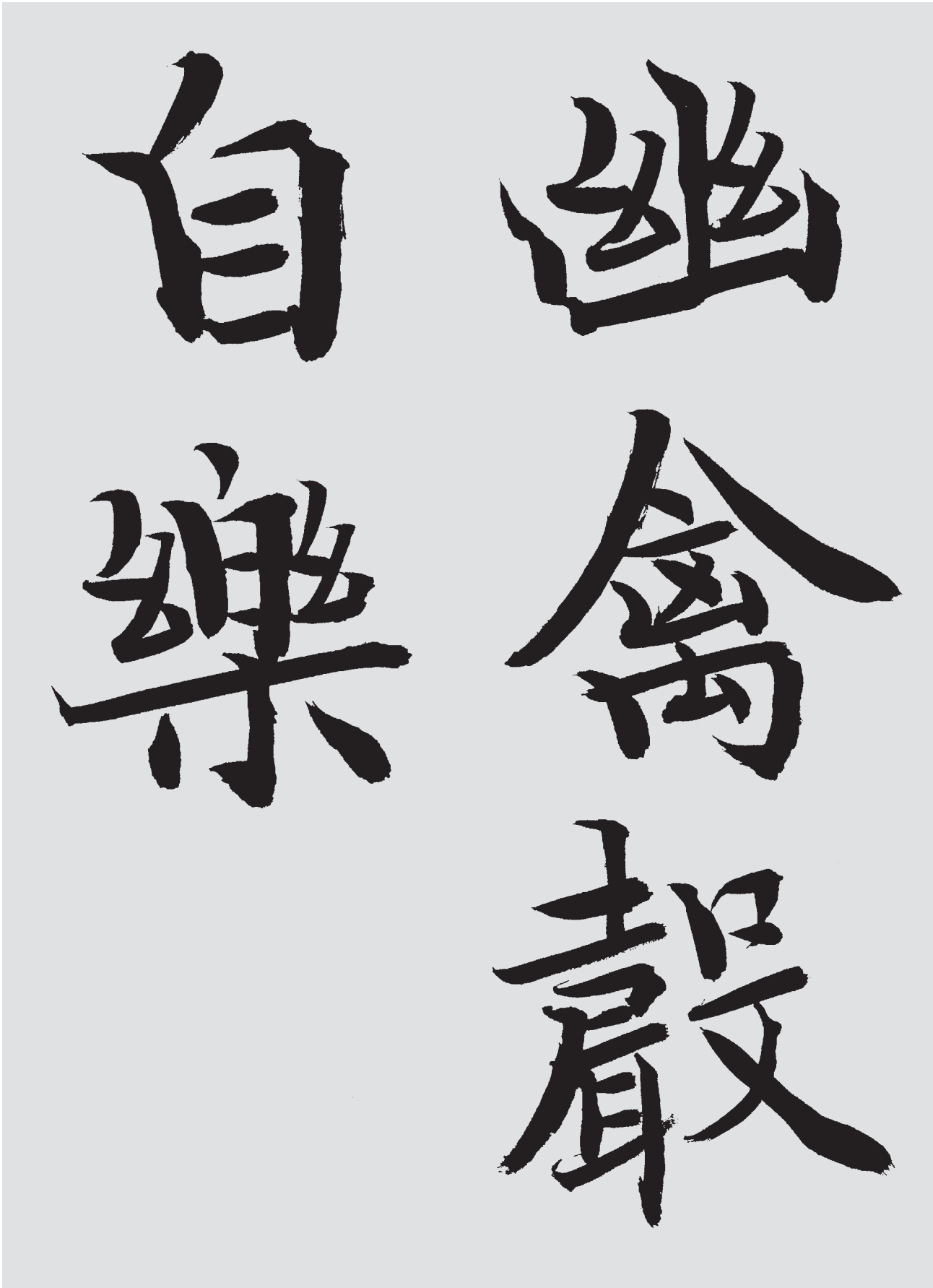
名

前

雨のほひの夜や気きに
ふれ
温かき

参 考 手 本

幽禽ゆうきんの聲こゑ、
自おのずから樂たのし



成 瀬 映 山 先 生